

## 表紙の写真

ウコギ科の *P. vietnamensis* Ha et Grushv. var. *fuscidiscus* K. Komatsu, S. Zhu & S. Q. Cai, 野三七, majonoside R<sub>2</sub>  
(中国雲南省南部にて, 2012年9月8日, 小松かつ子撮影)

1999年の学術調査で本植物を発見し, 外部形態, 遺伝子型及び成分の研究により, *P. vietnamensis* の新変種として命名した。ベトナム人蔘と同様にオコチロール系サポニンの majonoside R<sub>2</sub> を含有することが特徴で, さらに ginsenoside Rb<sub>1</sub> や Rg<sub>1</sub> なども含有していた。野三七の名称で補剤(強壯薬)として市場で売られていたが, 当時から野生品の減少が危惧されており, 村人の手により栽培化が図られていた。2012年に再度訪問したときには市場には全く見られず, 栽培も細々と行われている程度であった。薬用資源植物の有用性の評価とともに, 持続可能な利用のための方策を立てることが急務である。